

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	地域生活支援事業(社会参加促進事業)												
事業担当	所属	福祉保健部 障害者福祉課					所属長	山路 智子					
会計情報	事業コード	420357	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉支援費	会計	01 一般会計	決算付属資料	122・124	頁
施策体系	施策コード	050402	施策名	自立と社会参加を促進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市障害者計画、第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画							
根拠法令等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的(あるべき姿)	障害のある人が、さまざまな事業や活動を通し、社会参加の促進や交流を図る。									
対象者	障害のある人	対象者数	4,808	単位あたりコスト	2.3					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社、有限会社チームワーク									

事業概要(箇条書き)	・障害のある人等の体力増強、交流、余暇等、また、障害のある人等がスポーツに触れる機会を提供するため、各種レクリエーション教室や大会・運動会などを開催する。 ・障害のある人等が社会参加活動を行うための環境の整備や必要な支援を行う。									
------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	報償費	155	デイサービス事業の各種講座に係る講師謝礼等		
需用費	86	デイサービス事業の各種講座に係る消耗品等			
委託料	119	体験事業実施に係る運転代行委託等			
使用料及び賃借料	438	体験事業実施に係るバス借上料等			
旅費・負担金補助及び交付金	1,244	体験事業旅費・障害者団体バス借上補助金、ふれあい福祉フェスタ交付金等			

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,371	3,204	2,798	2,636				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,371	3,204	2,798	2,636					
予算財源内訳	① 一般財源	594	801	699	659				
	② 国支出金	1,185	1,602	1,399	1,318				
	③ 府支出金	592	801	700	659				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	2,371	3,204	0	0				
	③ 執行額	1,864	2,042	0	0				
	④ 執行率	78.6%	63.7%						
人概工算	① 従事職員数(正職員、非常勤職員)	0.19/0	1.09 / 0.05	1.09 / 0.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,520	8,845	8,845	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	3,384	10,887	8,845						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費国庫補助金	実績金額	633	決算付属資料	18	頁
	特財名称	地域生活支援事業	種類	民生費府補助金	実績金額	316	決算付属資料	24	頁
	特財名称	在宅障害者デイサービス事業参加負担金	種類	雑入	実績金額	23	決算付属資料	48	頁

IV 業績指標

成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	在宅デイサービス実施回数	回	15/16	15/16	15 / 16	/	16	16
ふれあい大運動会参加者数	人	440/500	412/500	442 / 500	/	500	500	
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	在宅デイサービス参加者数	人	151/155	177/155	166 / 155	/	155	190
	単位あたりコスト		14.52	10.50	12.30			
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	障害のある人の社会参加の契機として必要性の高い事業だが、中には行政でなくても実施可能な事業もある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	活動資金の補助により、障害のある人の社会参加と自立のため安定した活動を行なっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	障害のある人の社会参加の契機となりうる事業であるが、事業によっては参加者が固定化され、新規の参加者が少ない傾向がある。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	外出の機会が少なくなりがちな障害のある人の社会参加の機会となり、障害や障害のある人に対する市民の理解を深める機会としても、重要な役割を果たす事業である。		
これまでの課題及び今後の方向性	参加者が固定化することがないよう、より広範囲への周知をはかる必要がある。参加者が固定化している事業について、運営委員と一緒に事業内容を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	障害者講座事業									
事業担当	所属	教育委員会 生涯学習課					所属長	八瀬 正雄		
会計情報	事業コード	420301	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 234 頁
施策体系	施策コード	050402	施策名	自立と社会参加を促進する						
計画期間	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	知的障害者、視覚障害者及び聴覚障害者など、障害のある人が生涯を通して教育や文化、スポーツなどに親しみ、仲間と共に行ききとした生活を送れるよう、自らが進んで社会参加できるような学習と交流の場を提供する。また、障害のある人が、互いに悩みや希望を語り合い、明日への活力を得るための機会とする。									
対象者	知的障害者、視覚障害者、聴覚障害者	対象者数	146	単位あたりコスト	17.8					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(バス運転代行)									

事業概要 (簡条書き)	●文化・芸術体験学習、スポーツ体験、宿泊体験、調理体験、施設見学、他市交流など各種講座を実施。 障害者青年学級 7回/年、参加者:各回10~35人 視覚障害者成人講座 3回/年、参加者:各回20人~25人 聴覚障害者成人講座 3回/年、参加者:各回10人程度 ●平成27年度より、「障害者青年学級事業」と「障害者成人講座事業」を統合。								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	報償費	63	青年学級指導者・聴覚障害者講座手話通訳謝礼		
旅費	9	成人講座・青年学級引率職員旅費、綾部市青年学級交流会引率職員電車代			
需用費	26	公用車・福祉バス燃料費、青年学級講座材料費(染め物染料 他)			
役務費	30	青年学級指導者傷害保険料、郵送料			
委託料・使用料及び賃借料	70	バス運転代行業務委託料42、バス駐車料・高速道路通行料28			

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	366	358	207	211	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	366	358	207	211		
予算財源内訳	① 一般財源	366	358	207	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 97	0	0	0	
	② 配当予算	269	358	0	0	
	③ 執行額	248	198	0	0	
	④ 執行率	92.3%	55.3%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.24/0	0.30 / 0.00	0.30 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,920	2,400	2,400	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,168	2,598	2,400			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	延べ参加人数	人	314 / 350	302 / 350	332 / 350	/ 300	300
出席者/教室・講座登録者	人	60 / 60	70 / 60	70 / 140	/ 140	140	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	講座開催数	回	18 / 19	19 / 19	17 / 18	/ 15	15
	単位あたりコスト		19.27	13.05	11.65		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者、視覚障害者及び聴覚障害者が社会参加の場を拡大することになることから、市が取り組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座については、年度当初に対象者と一緒に計画し講座内容を充実するよう実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 活動実績は概ね達成している状況であり、成果実績についても約98%の達成率となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ●障害を持つ市民に生涯学習の場を提供するとともに、社会参加を進めるきっかけ作り、手段の一つとして大きな役割を果たしている。 ●講座計画、内容については参加者の意見を聞きながら毎年充実を図っている。 ●成果実績としては、ほぼ100%の達成率となっており、目的を十分に達成できていることは評価できる。 ●青年学級：定期的、計画的な教室(講座)事業実施により、知的障害者の社会参加の場を提供でき、明日への意欲と希望を見出す機会となっている。また、事業を通じて仲間との交流にもなっている ●視覚・聴覚障害者：視覚、聴覚・言語に障害がある人に対し、様々な講座を通して学習の機会を提供し、互いに希望を見つけ、明日への活力を得るための機会となっている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●青年学級：在籍者に対比して、仕事や家庭の事情等で、参加できるメンバーが固定化しつつあり、交流の機会や活性化が望まれる。 ●視覚・聴覚障害者：参加者が、視覚及び聴覚障害者協会の会員が主体となっており、協会会員以外の参加促進等の手法等を考える必要がある。 ●視覚障害者講座：中丹の研修会と管内研修を同一日とすることにより参加者の負担軽減を図るとともに、経費の削減を行なう。 		

事後事業評価	
--------	--

事中事業評価	
--------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、障害者の自立及び社会参加の場を保障するために事業を充実させ、啓発においては市のHPも活用し、各講座の開催について広く広報していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---